

北九州市都市計画マスタープラン改定版（素案）〔事務局原案〕 概要版  
（第 5 部 地域別構想）

平成 2 9 年 5 月  
建築都市局

●基本的事項

◆目的

区が抱える問題や課題に対して、都市計画の視点からまちづくりの将来ビジョンや協働による取り組みの方向を明らかにすることを目的に策定します。

◆役割：次の役割を担います。

- 各区の総合的なまちづくりの指針となります。
- 都市計画を定める際の指針となります。



●各区の概況

- ◆門司区 ➢人口は、平成27年現在約10万人で、全市の10%を占めます。平成22年から5%減少し、各区で最も高い減少率となっています。  
➢高齢化率は、各区でもっとも高く（35%）、将来43%まで上昇することが想定されています。人口密度は、全市より低くなっています。
- ◆若松区 ➢人口は、平成27年現在約8万人で、全市の9%を占めています。平成22年から3%減少しています。  
➢高齢化率は全市と同程度（30%）であり、人口密度は市内で最も低くなっています。
- ◆戸畑区 ➢人口は、平成27年現在約6万人で、全市の6%を占めています。平成22年から4%減少しています。  
➢高齢化率（30%）及び人口密度は全市と同程度となっています。
- ◆小倉北区 ➢人口は、平成27年現在、約18万人で、全市の19%を占めています。平成22年から横ばいです。  
➢高齢化率は、全市と同程度（28%）であり、人口密度は各区で最も高くなっています。
- ◆小倉南区 ➢人口は、平成27年現在約17万人で、全市の22%を占めています。平成22年からほぼ横ばいです。  
➢高齢化率は最も低く（26%）、若年人口は、八幡西区に次いで多くなっています。一方、人口密度は若松区、門司区に次いで低くなっています。
- ◆八幡東区 ➢人口は、平成27年現在約7万人で、全市の7%を占めています。平成22年から4%減少しています。  
➢高齢化率は門司区に次いで高く（34%）、将来43%まで上昇することが想定されています。人口密度は全市と同程度となっています。
- ◆八幡西区 ➢人口は、平成27年現在約25万人で、全市の27%を占めています。平成22年から微減しています。  
➢高齢化率は全市と同程度（27%）であり、若年人口は、最も多くなっています。人口密度は小倉北区に次いで高くなっています。

	面積 (ha)	可住地面積 (ha)	H27人口			H27世帯数	
			総数	15歳未満人口	15~64歳人口		65歳以上人口
北九州市	49,195	29,609	961,286	119,448	549,397	277,120	426,325
北九州市 門司区	7,367	3,853	99,637	11,224	52,241	35,060	43,082
北九州市 若松区	7,131	5,484	82,844	10,733	47,023	24,896	33,692
北九州市 戸畑区	1,661	1,605	59,116	6,903	34,441	17,531	27,797
北九州市 小倉北区	3,923	3,113	181,878	19,394	104,914	50,075	91,253
北九州市 小倉南区	17,174	7,653	212,850	29,924	126,427	55,703	88,497
北九州市 八幡東区	3,626	1,895	68,844	7,586	37,416	23,612	31,442
北九州市 八幡西区	8,313	6,006	256,117	33,684	146,935	70,243	110,562

	H27/H22		H27可住地人口密度	H27 1世帯あたり人	H27 高齢化率 (%)
	人口増減数	人口増減率 (%)			
北九州市	-15,560	-1.59	32.47	2.26	29%
北九州市 門司区	-4,832	-4.63	25.86	2.32	35%
北九州市 若松区	-2,323	-2.73	15.11	2.46	30%
北九州市 戸畑区	-2,467	-4.01	36.83	2.13	30%
北九州市 小倉北区	-58	-0.03	58.43	2.00	28%
北九州市 小倉南区	-1,943	-0.90	27.81	2.41	26%
北九州市 八幡東区	-2,957	-4.12	36.33	2.19	34%
北九州市 八幡西区	-980	-0.38	42.64	2.32	27%

	将来人口 (H52 社人研より)				
	総数	15歳未満人口	15~64歳人口	65歳以上人口	高齢化率 (%)
北九州市	784,162	79,211	409,013	295,938	38%
北九州市 門司区	72,753	6,462	35,260	31,031	43%
北九州市 若松区	64,946	6,318	33,842	24,786	38%
北九州市 戸畑区	46,404	4,155	23,880	18,369	40%
北九州市 小倉北区	149,445	13,558	80,111	55,776	37%
北九州市 小倉南区	186,953	20,835	98,890	67,228	36%
北九州市 八幡東区	49,142	4,252	23,958	20,932	43%
北九州市 八幡西区	214,519	23,631	113,072	77,816	36%

国立社会保障・人口問題研究所  
『日本の地域別将来推計人口  
(平成25年3月推計)』による推計値

●門司区

◆特性と課題

●港湾都市としての特性を活かしたまちづくりの課題

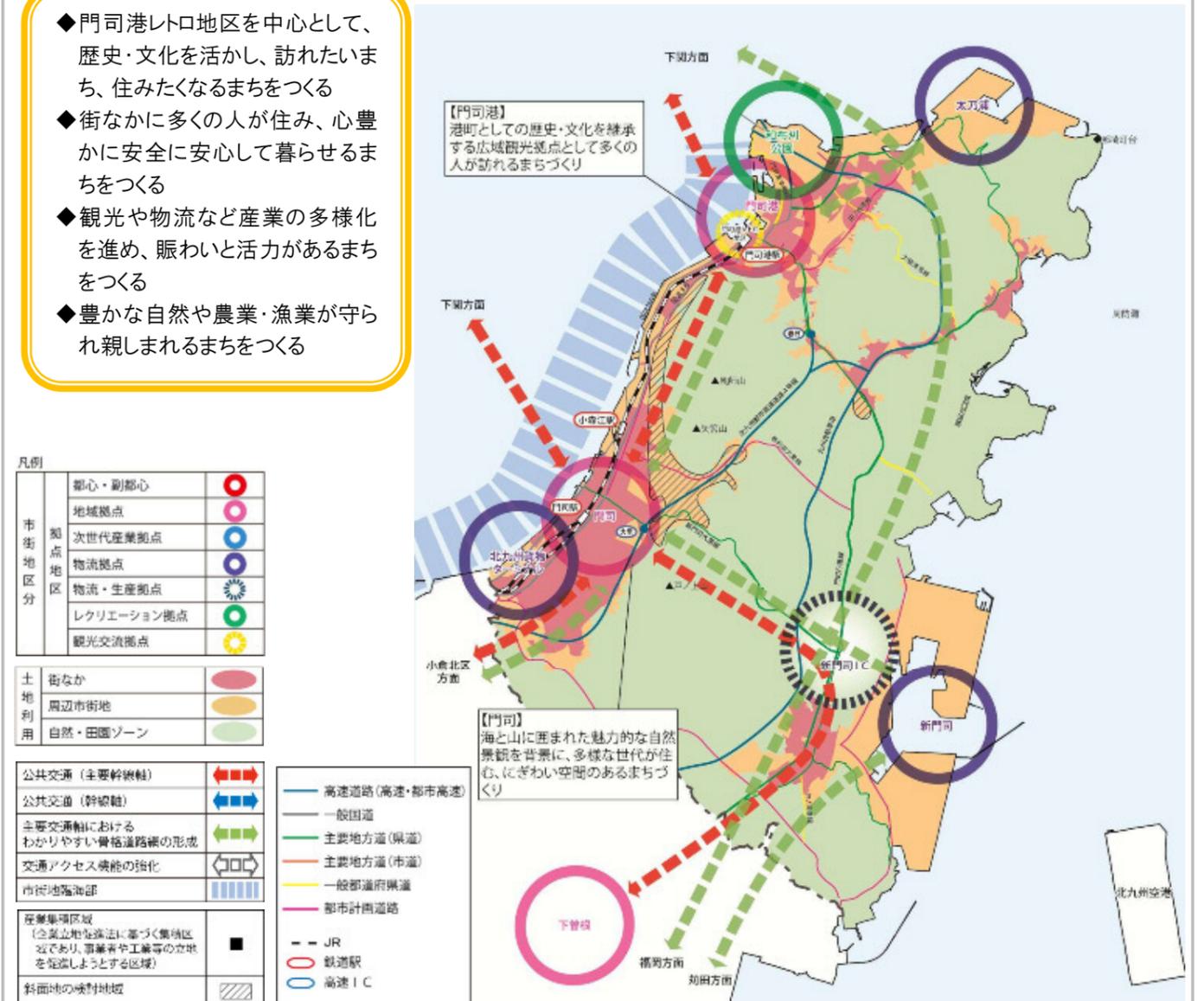
- 歴史的資源、豊かな自然および農業・漁業環境の保全・活用や下関市との連携などにより、魅力あるまちづくりが必要です。
- 本市の観光発展に寄与するとともに、商店街等周辺への回遊性を高め、訪れたいまち、住みたくなるまちづくりが必要です。
- 太刀浦、新門司などの物流拠点を中心とする多様な産業の振興により、にぎわいと活力があるまちづくりが必要です。
- 公共交通の主要幹線軸である門司港、門司と小倉都心方面、門司と小倉南区下曾根方面を結ぶ区間について、乗り継ぎ向上などの機能強化、利用促進が必要です。

●豊かな自然を活かした住み続けられる居住地としてのまちづくりの課題

- モデルプロジェクト再配置計画の推進に当たり、まちのにぎわいや活性化に留意していくことが必要です。
- 市街地臨海部などの低・未利用地について、広域的な都市型観光拠点や恵まれた自然景観のある立地条件を活かし、有効利用していくことが必要です。
- 高齢化率が特に高いことから、人や地域のつながりを活かした安全・安心に暮らせるまちづくりが必要です。
- 防災上、居住環境上の課題を抱える斜面地住宅については、居住のあり方について検討を進める必要があります。
- 臨海部においては、津波や高潮等に対する防災・減災対策が必要です。

◆まちづくりの目標と都市の構造

- ◆門司港レトロ地区を中心として、歴史・文化を活かし、訪れたいまち、住みたくなるまちをつくる
- ◆街なかに多くの人が住み、心豊かに安全に安心して暮らせるまちをつくる
- ◆観光や物流など産業の多様化を進め、賑わいと活力があるまちをつくる
- ◆豊かな自然や農業・漁業が守られ親しまれるまちをつくる



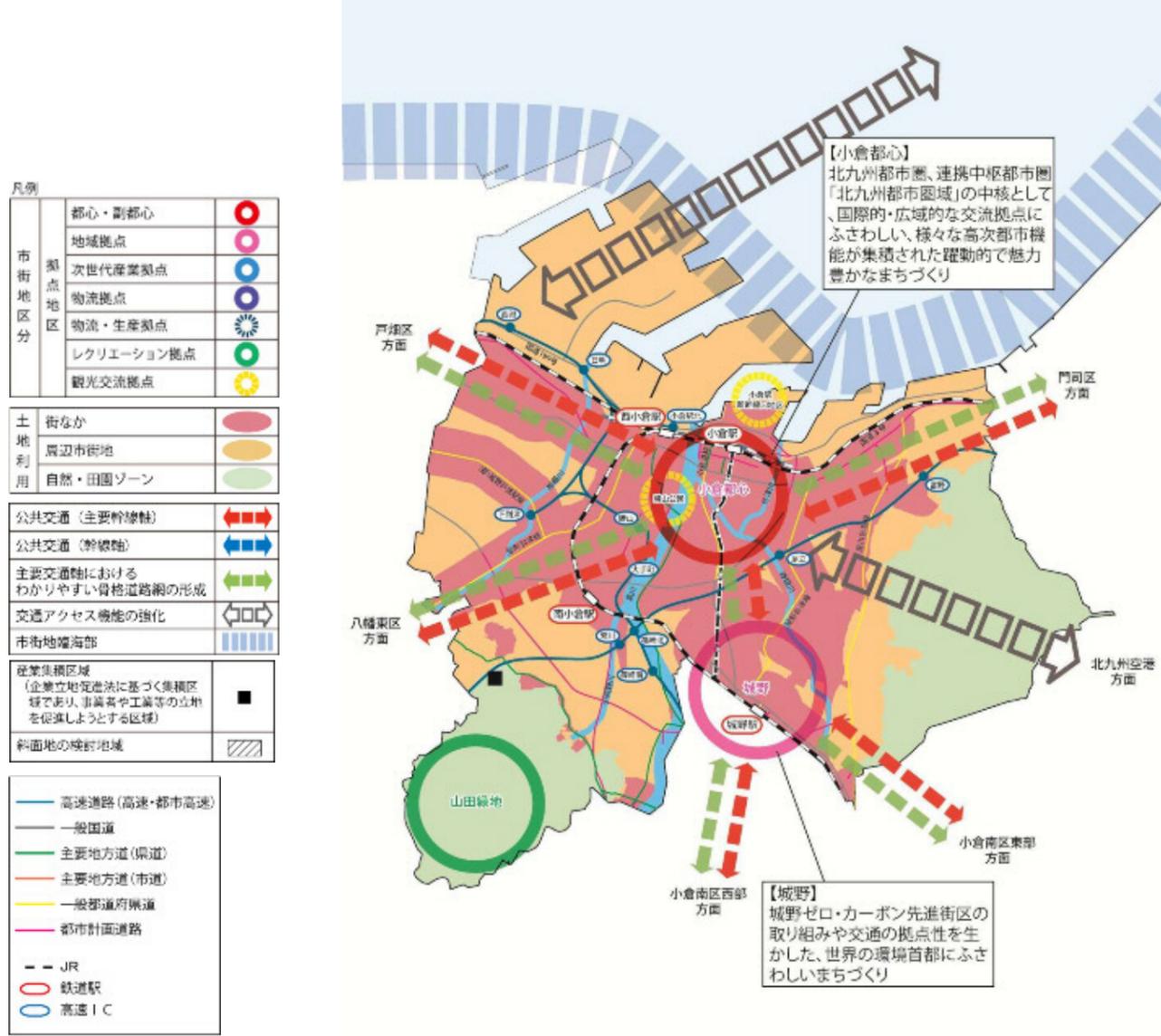
●小倉北区

◆特性と課題

- まちの顔としてひと、モノ、情報の交流が活発でにぎわいのあるまちづくりの課題
  - 北九州都市圏及び連携中枢都市圏「北九州都市圏域」の中核として、また国際化時代の交流拠点として、都市活力の再生に向けて、ひと、モノ、情報の交流が活発な、にぎわいのあるまちづくりが必要です。
  - まちの顔となる道路、河川、建物、景観などが一体的に整備され、質の高い都市機能が集積されたまちづくりが必要です。
  - 利便性の高さを活かしつつ、市民のだれもが安全・安心に暮らせるまちづくりを進めて行くことが必要です。
  - 城下町の時代や近代の歴史のなかで培われた文化的な資源や伝統行事を継承し、さらなるまちの活性化を図る必要があります。
  - 市街地臨海部などの低・未利用地について、小倉駅や港に近い恵まれた立地条件を活かし、有効利用をしていくことが必要です。
- 世界の環境首都にふさわしいまちづくりの課題
  - 世界の環境首都にふさわしい、緑豊かな景観や快適な都市環境を先導的に創出することが必要です。
  - 便利で、安全、快適に移動でき、そして自動車による環境負荷を減らしていく、総合的な都市交通の整備が必要です。

◆まちづくりの目標と都市の構造

- ◆都心にふさわしい、にぎわいと活力があるまちをつくる
- ◆街なかに多くの人々が住み、安心して快適に暮らせるまちをつくる
- ◆歴史・文化、ウォーターフロントを活かした、訪れたいまちをつくる
- ◆本市の顔となる環境にやさしいまちをつくる



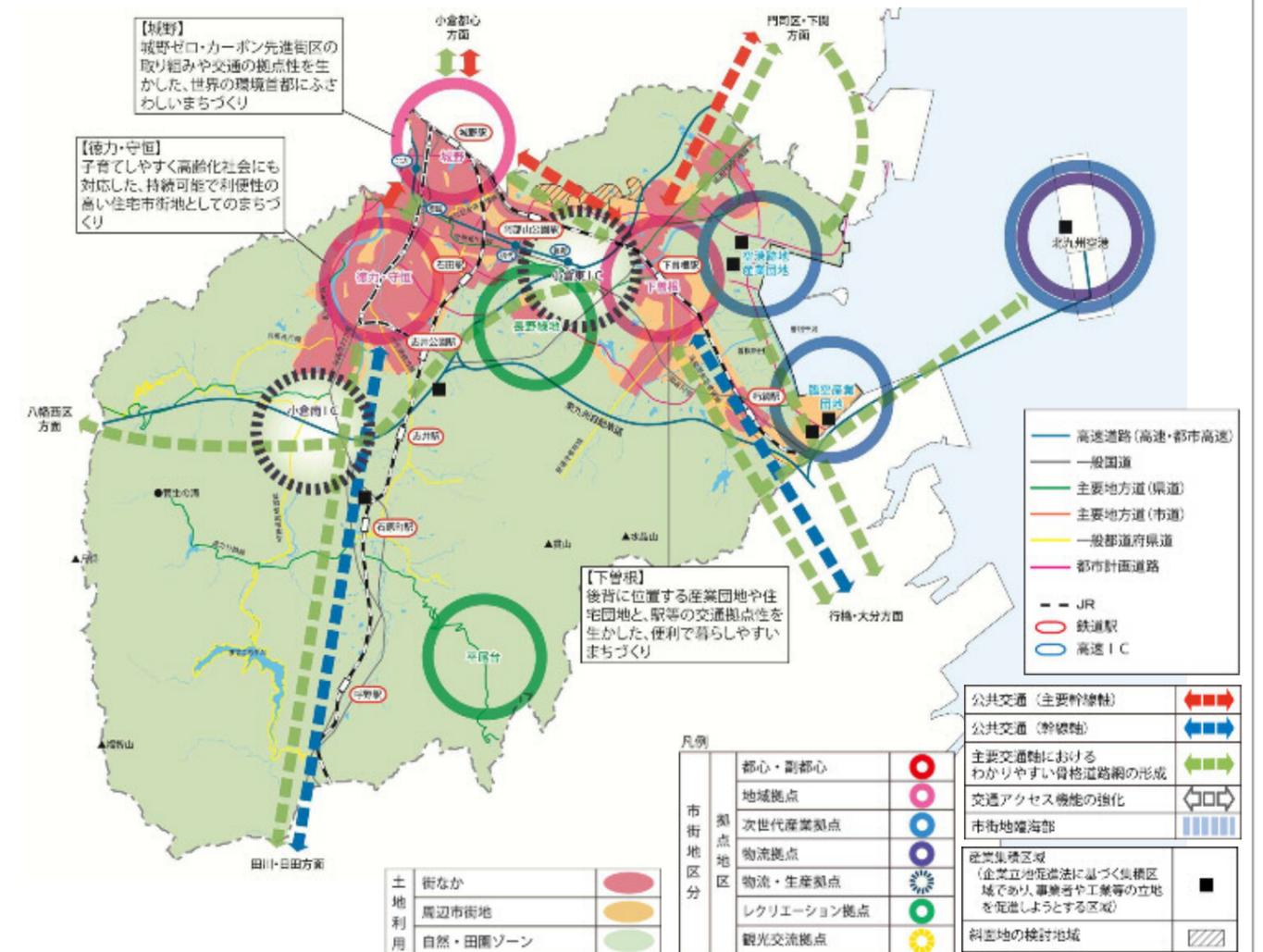
●小倉南区

◆特性と課題

- 広域交通結節点としての特性を活かした住みやすく活気のあるまちづくりの課題
  - 子どもを生み育てやすい環境づくりをさらに進めるため、今後も商業、医療、保育などの生活支援施設の立地・集積を図るとともに、交通結節機能の強化などにより、更なる利便性・快適性の向上を図る必要があります。
  - 公共交通の主要幹線軸である守恒・徳力、下曾根から小倉都心方面を結ぶ区間について、乗り継ぎ向上などの機能強化、利用促進が必要です。
  - 鉄道駅周辺の渋滞緩和や交通環境改善のための道路整備が必要です。
  - 本市の産業振興を強化するため、インターチェンジ周辺など交通利便性の高い地域において、内陸型の工業・物流系用地として計画的な利用を進める必要があります。
  - 臨海部においては、津波や高潮等に対する防災・減災対策が必要です。
- 豊かな自然を活かした観光・レクリエーション拠点としてのまちづくりの課題
  - 平尾台、福智山や曾根干潟などの豊かな自然環境とその裾野にある美しい里地・里山の田園風景を保全し、農業体験や環境学習の場などとして活用していくことが必要です。
  - 平尾台自然の郷や鍾乳洞などの観光資源の価値を高め、広域観光拠点として、さらなる魅力アップに努める必要があります。

◆まちづくりの目標と都市の構造

- ◆自然とふれあえるゆとりの空間と共生した安全・安心に便利に暮らせるまちをつくる
- ◆新たな産業を生みだし、交流の輪を広げ、元気と活力のあるまちをつくる
- ◆水や緑の豊かな自然を活かし、スポーツ・レクリエーションの場として、健康的で、安らぎと潤いのあるまちをつくる
- ◆豊かな自然や農業・漁業が守られ親しまれるまちをつくる



●若松区

◆特性と課題

●臨海工業地との連携による魅力的なまちづくりの課題

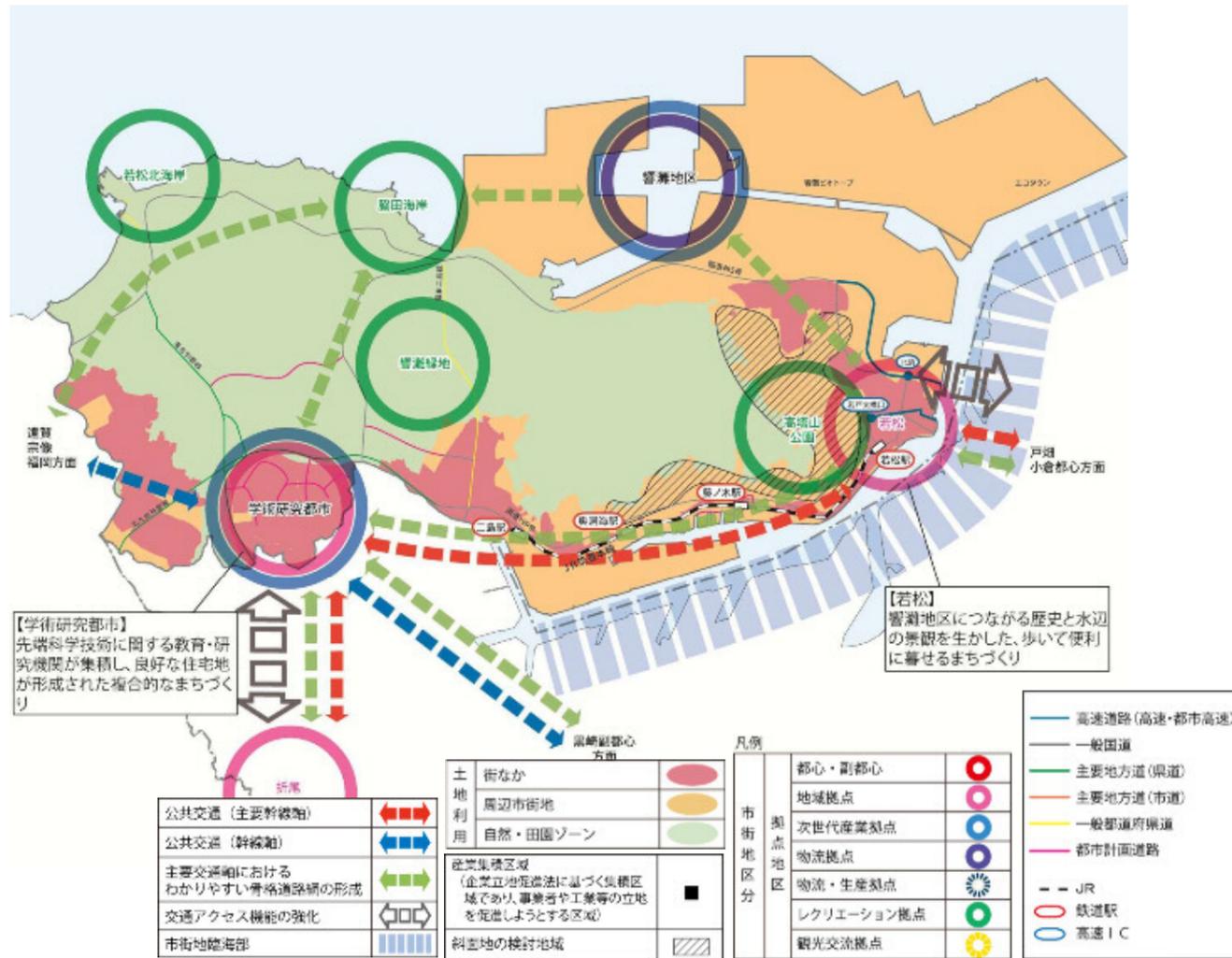
- 若松らしい歴史・文化遺産を大切にしながら継承し、若松地域拠点の中心市街地の活性化を図るとともに、その周辺への定住促進を進める必要があります。
- 響灘地区や北九州学術研究都市における次世代産業拠点の形成にともなう新たな居住者を、人口減少が進んでいる中心市街地やその周辺に積極的に取り込むことが必要です。
- 公共交通の主要幹線軸である若松から折尾方面を結ぶ区間について、乗り継ぎ利便性向上などの機能強化、利用促進が必要です。
- 戸畑・小倉方面への交通利便性の強化が必要です。
- 響灘緑地や若松北海岸、脇田地区との連携により、多くの市民の憩いの場として観光・レクリエーション機能の充実が必要です。
- 防災上、居住環境上の課題を抱える斜面地住宅については、居住のあり方について検討を進める必要があります。

●本市をリードする学術研究拠点としてのまちづくりの課題

- 北九州学術研究都市を区の新たな地域拠点として、次世代産業拠点にふさわしい機能の充実とともに、自然と調和した良好な居住環境の形成が必要です。
- 公共交通の主要幹線軸である学研方面から折尾を結ぶ区間について、乗り継ぎ利便性向上などの機能強化、利用促進が必要です。

◆まちづくりの目標と都市の構造

- ◆街なかにも多くの人が住み、地域で支え合って生き生きと暮らせるまちをつくる
- ◆多様な産業の集積がにぎわいと活力を生み出すまちをつくる
- ◆歴史や文化を継承しながら新しい魅力を創造していくまちをつくる
- ◆豊かな自然や農業・漁業が守られ親しまれるまちをつくる



●八幡東区

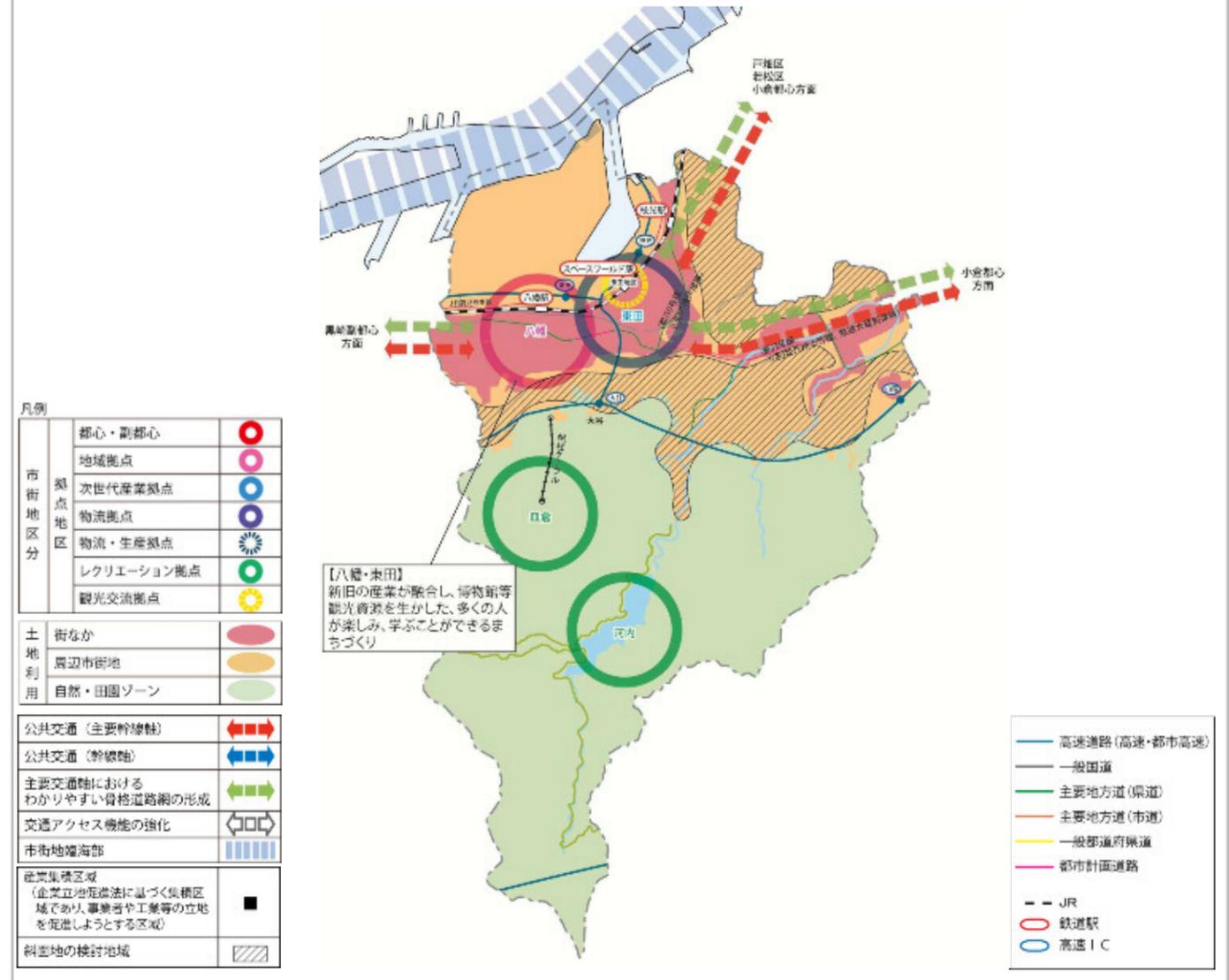
◆特性と課題

●本市をリードする環境共生のまちづくりの課題

- 東田第一高炉や官営八幡製鉄所関連施設などの近代化産業遺産や教育・文化施設、皿倉山や河内貯水池などの豊かな自然の保全・活用により、さらなる魅力あるまちづくりが必要です。
  - 世界の環境首都にふさわしい先進モデル地区として、次世代産業拠点の形成などの展開が必要です。
- 高齢社会に対応した誰もが住みやすいまちづくりの課題
- 公共交通の主要幹線軸である八幡・東田と小倉都心や黒崎副都心、戸畑方面を結ぶ区間について、乗り継ぎ向上などの機能強化、利用促進が必要です。
  - 高齢化率が特に高いことから、人や地域のつながりを活かした安全・安心に暮らせるまちづくりが必要です。
  - 防災上、居住環境上の課題を抱える斜面地住宅については、居住のあり方について検討を進める必要があります。

◆まちづくりの目標と都市の構造

- ◆街なかの利便性・快適性を高め、安全・便利で全ての世代が生活しやすいまちをつくる
- ◆地域のポテンシャルを活かし、新たな産業の立地を進めるとともに、既存産業との連携を図りながら、活力を再生し続けるまちをつくる
- ◆皿倉山や近代化産業遺産などの観光資源や、教育・文化施設、国際交流施設などの質を高め、ビジターズインダストリー（集客産業）の中核として多くの人が訪れるまちをつくる
- ◆河内や皿倉などの豊かな自然を守るとともに、街なかの水と緑を育み、環境共生のまちをつくる



●八幡西区

◆特性と課題

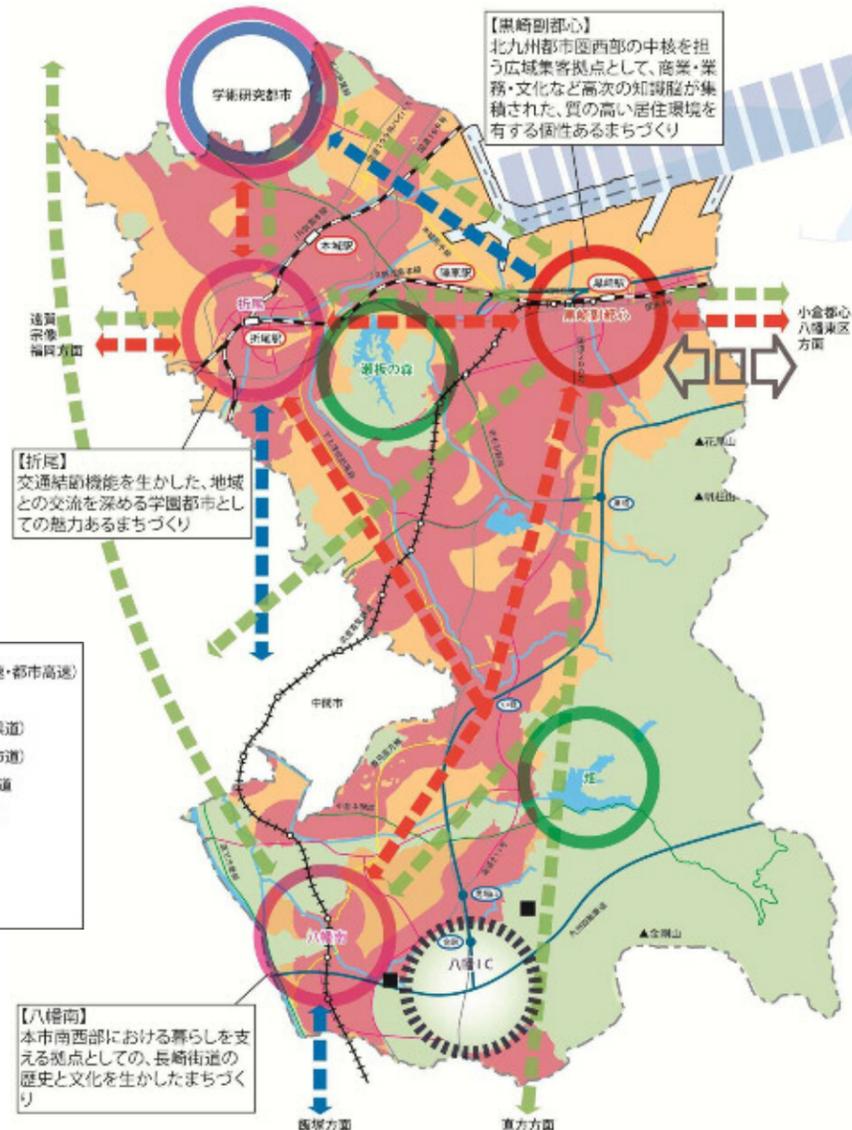
- 黒崎副都心の活力再生や住みやすく持続可能なまちづくりの課題
  - 黒崎副都心地区の中心市街地は、身近な買い物の場としてだけでなく、様々なにぎわいづくりや魅力づくり等により活力再生を図ることが必要です。また、地域が一体となった取組を進め、魅力ある拠点形成を図るとともに、その相乗効果を本市全体に波及させていくことが必要です。
  - 黒崎地区の交通渋滞解消と交通安全の確保、さらには、黒崎副都心の発展を促進するため、幹線道路の整備や小倉都心とのバス交通機能の強化が必要です。
  - 筑豊電気鉄道は、乗継ぎ環境の改善を図ることで利用促進し、路線維持・存続を図る必要があります。
  - JR 陣原駅周辺、永犬丸・ミヶ森地区、八幡南地区では、今後も商業、医療などの生活支援施設の立地・集積を図るとともに、交通結節機能の強化などにより、さらなる利便性・快適性の向上を図る必要があります。
  - 本市の産業振興を図るため、インターチェンジ周辺など交通利便性の高い地域において、内陸型の工業系用地として計画的な利用を進める必要があります。
- 豊かな歴史資源を保全・活用した魅力あるまちづくりの課題
  - 長崎街道沿いの曲里の松並木や黒崎宿・木屋瀬宿の歴史、堀川運河などの近代化遺産などを活かした景観形成や、観光資源としての活用が必要です。

◆まちづくりの目標と都市の構造

- ◆産業の振興を図り、副都心にふさわしい、にぎわいと活力のある、多くの人が集まり交流するまちをつくる
- ◆街なかに多くの人々が住み、市民のだれもが安全・安心して暮らせるまちをつくる
- ◆長崎街道などの歴史や学術・文化に触れ、多くの人々が夢をはぐくみ、訪れたいまちをつくる
- ◆山や川などの豊かな自然を活かし、水と緑の潤いを感じられるまちをつくる

市街地区区分	都心・副都心	●
	地域拠点	○
拠点地区	次世代産業拠点	○
	物流拠点	○
	物流・生産拠点	○
	レクリエーション拠点	○
	観光交流拠点	○
土地利用	街なか	■
	周辺市街地	■
	自然・田園ゾーン	■
公共交通（主要幹線軸）		→→→
公共交通（幹線軸）		→→
主要交差点におけるわかりやすい骨格道路網の形成		→→→
交通アクセス機能の強化		→→
市街地臨海部		■
産業集積区域 (企業立地促進法に基づく集積区域であり、事業者や工業等の立地を促進しようとする区域)		■
斜産地の検討地域		■

高速道路(高速・都市高速)	—
一般国道	—
主要地方道(県道)	—
主要地方道(市道)	—
一般都道府県道	—
都市計画道路	—
JR	- -
鉄道駅	○
高速IC	○



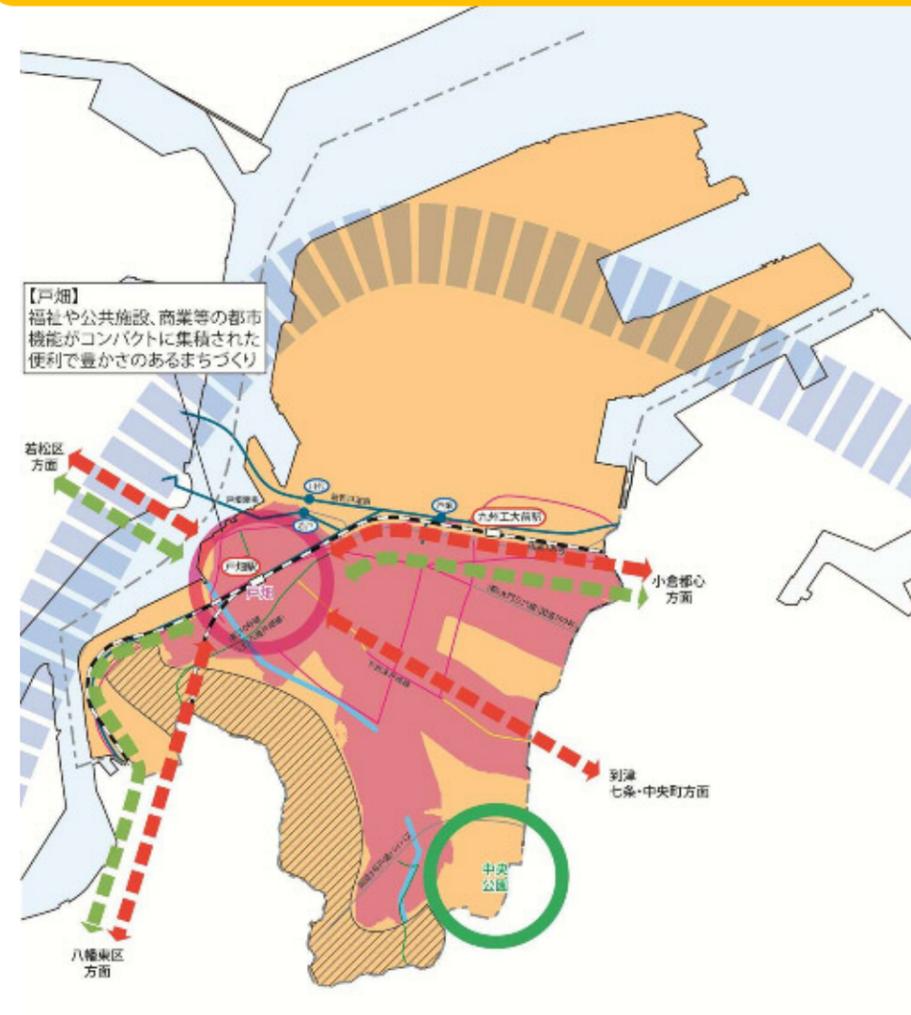
●戸畑区

◆特性と課題

- 良好な居住環境の維持・向上を図るためのまちづくりの課題
  - 戸畑まちづくり構想を契機として、生活利便性が向上した地域拠点の活力再生を図るとともに、その周辺への定住促進を進める必要があります。
  - 交通結節点における乗り継ぎ向上などの機能強化、利用促進が必要です。
  - 高台地区における生活交通手段について検討を進めます
  - 中央公園及び美術の森公園周辺、夜宮公園、都島展望公園周辺などのまとまった緑地については、市街地内の良好な緑地として保全を図るとともに、身近なスポーツ・レクリエーションの場としてのさらなる活用を図る必要があります
  - 防災上、居住環境上の課題を抱える斜面地住宅については、居住のあり方について検討を進める必要があります。
- 福祉・文教地区としての魅力を育てるまちづくりの課題
  - これまで、医療や福祉施設、商業施設などが整備されてきましたが、超高齢社会に備え、高齢者が暮らしやすいまちづくりについて、まちづくり協議会などと連携をしながら検討を図る必要があります。
  - 教育施設、美術館、複合公共施設(ウェルとばた)等の文教施設が整っており、将来に向けて文教のまちとしての価値を高めるまちづくりが必要です。

◆まちづくりの目標と都市の構造

- ◆利便性・快適性の魅力を高め、街なかに多くの人々が住み、安全で便利に暮らせるまちをつくる
- ◆福祉・文教のまちとしての街並み形成を図り、質が高く魅力にあふれるまちをつくる
- ◆伝統・文化をはぐくみ、豊かさや活力のあるまちをつくる。
- ◆スポーツ・レクリエーションの場として、健康的で、安らぎと潤いのあるまちをつくる



市街地区区分	都心・副都心	●
	地域拠点	○
拠点地区	次世代産業拠点	○
	物流拠点	○
	物流・生産拠点	○
	レクリエーション拠点	○
	観光交流拠点	○
土地利用	街なか	■
	周辺市街地	■
	自然・田園ゾーン	■
公共交通（主要幹線軸）		→→→
公共交通（幹線軸）		→→
主要交差点におけるわかりやすい骨格道路網の形成		→→→
交通アクセス機能の強化		→→
市街地臨海部		■
産業集積区域 (企業立地促進法に基づく集積区域であり、事業者や工業等の立地を促進しようとする区域)		■
斜産地の検討地域		■

高速道路(高速・都市高速)	—
一般国道	—
主要地方道(県道)	—
主要地方道(市道)	—
一般都道府県道	—
都市計画道路	—
JR	- -
鉄道駅	○
高速IC	○